

エコニュース さって



第 23 号

平成 20 年 6 月 18 日
幸手市市民環境会議
(さって市民環境ネット)
TEL48-0331

エコライフDAYに 参加しませんか！



エコライフDAYとは
簡単なチェックシートを利用し
て、エコライフに取り組んでい
ただくものです。

1 日省エネ・省資源など環境に配慮した生活をしていただき、その成果を、二酸化炭素の削減量の形で把握していただきます。できるだけ多くの人に、地球温暖化防止のためにライフスタイルを変えるきっかけづくりにしていただくことを目的としています。

<< どんなことするの？ >>

お買い物の際には、
マイバックの用意を。

1 人が
1 年間で使用する手提げ
袋は、なんと 230 枚。

夏の冷房の設定温度は
28 に。



お薦めは省エネ
型家電！
地球に優しく、更
にお得だね！

じゃぐちはこまめに
しめる。

シャワーを 1 分間出しっ放しだと、
なんと 10 リットルにもなります。



参加方法



実施日

平成 20 年 7 月 13 日 (日曜日)



参加の仕方

チェックシートのチェック項目のうち、1 日のうちで、できたことについてチェックする。チェック項目には二酸化炭素の量が示されています。
合計が一日で削減された二酸化炭素の量。



チェック用紙

市役所や公民館等の市の施設に置いてあります。



回収方法

公民館等の市の施設に設置してある「回収BOX」に投函して下さい。

主催 幸手市、エコライフDAY2008幸手実行委員会

後援 幸手市教育委員会

お問い合わせ先 幸手市市民生活部環境課(: 48 - 0331)

落葉リサイクルで腐葉土づくり

今年もサツマイモ苗を植えました！

< 第 28 回腐葉土づくりの会 >



5 月 18 日（日）うす曇、23 名参加の下で、直接農園に参集し開催しました。前日に適度の雨があり土が程よくぬれていました。冒頭、会長から 7 月のエコライフ DAY 2008 参加のお願い、『食断』（エコニュース第 23 号記載）の話、行幸湖の浮島作り（6 月 8 日）中川探検ウォーク（5 月 24 日）の案内がありました。その後、今回は代表幹事が都合で休みであったので、事務局から、前日、幹事有志による腐葉土撒き、新井先生が耕作、畝作りしてくれたことを報告し、サツマイモ苗の植え方のマニュアルに従って植え方を説明して（舟型挿し）全員で植えました。また、ジャガイモ畑の草取りと土寄せも行いました。ただ、ジャガイモは追肥を沢山あげましたが、元肥が少なくて生長が遅れていて若干病気も入っており収穫量に心配があることを伝えました。作業が終了後、一応解散し、更に腐葉土の欲しい人は桜泉園に行って袋詰め（100 円/袋）して持帰りました。

次回は、少しでもジャガイモの成長回復と、収穫量の増えることを期待して第 4 日曜日の 6 月 22 日（日）としました（澤村）。

次回予告 ジャガイモを収穫します

< と き > 6 月 22 日（日） 9 時

< ところ > 上吉羽の農園

誰でも参加できます。

* 問合せ・申し込み 本田さん 42-8412

水辺の環境・再発見 ~今年も好評~

< 第 2 回中川探検ウォーク >

5 月 24 日（土）第 2 回中川探検ウォークを行いました。今回は「いのちあふれる中川の小径」を探検テーマとし、天神橋～玉子橋～天神橋のコースを探検しました。

中川流域は豊かな水辺の環境に恵まれ、「人」と「野生動植物」とが共存している貴重な流域です。初夏のような強い日差し。草いきれ。水辺にそって歩くと体に感じる川風。歩き疲れた頃には、心地よい木漏れ日の下の小径。そしてわくわくドキドキのクヌギ林。今年も心・満たされる中川探検になりました。

今回も、指導者と s て、山本裕隆、青柳進氏にご参加いただき、樹木と野鳥の生態について興味ある説明をしていただきました。『ホオジロ』の観察は「観て」「聴いて」とても楽しかったです。屋敷林では、『シロダモ』『ミズキ』に関心が集まりました。次の屋敷林を構成する「かくれた主役」のような印象をもちました。（次ページに続く）

雑木林では、『クヌギ』『コナラ』『エノキ』『ムクノキ』たちが主役でしたが、今後、雑木林の維持、保全等を考えると、『シロダモ』の存在が大きな要素を持つと考えます。

今年の探検ウォークは、春と夏の季節の中間となり、観察できる野鳥や蝶の個体数、種類とも少なかったです。今後は、4月頃に計画したいと思います。また、宇和田公園も探検の対象にしたいと考えます。

幸手市の自然観察のシンボルである「中川流域」をゆっくり歩いてみましょう。そして、ふるさとの貴重な景観＝価値、を再発見してみましょう。（石井）

観察の途中、心無い人の残したごみを集めました。粗大ごみは手に負えません。でも、今のままでは「景観」を帳消しにしてしまいます。みなさんと一緒に、やれることをみつけて進めていきたいと思います。

第4回「行幸湖・浮島作り」 ことしもさらに2つ作り、これで 全部で7つの浮島が行幸湖に浮かびました！



6月8日（日）に開催、浮島作りも4年目になりました。昨年と同じく6月ということで計画を進めてきましたが、この季節心配なのが雨。開催日が近づくにつれ、天気予報をウォッチするのですが、週末になると雨の日になるパターンが続き、当日まで気をもみました。「午前中曇りで午後雨」前日の予報を頼りに、何とかもってくれと迎えた8日でしたが、雨にはあわずにまたけが人も出さず、無事に浮島作りを終えることができました。

今年の浮島作りは、10周年記念事業として幸手中央ロータリークラブの協賛をいただき、ロータリーメンバーの皆さんの参加10名も加え、ボーイスカウト、ガールスカウト、一般からの参加者と総勢80余人、浮島作り始まって以来の大盛況でした。

ロータリーの皆さんには、開会式の前、朝8時半に集まっていたいただいて、NPOとよあしはらの山本さんからイカダづくりの手順や注意点の講習を。「浮島作りは子どもたちが主体、大人たちは子どもの作業をサポートするイベントにしたい」（山本氏）趣旨の説明を聞き、ロータリーの皆さんにもその役割を担っていただきました。

例によって、炭袋詰めとイカダ組みとの2チームに分かれ、それぞれ作業開始。できた炭袋をイカダに乗せ、アシや菖蒲の苗を植え込み、完成したイカダ＝浮島の上に全員が乗って記念写真。その後、河岸を竹のレールに滑らせて進水式、湖面に浮いた浮島に飛び乗って写真を撮ったりした後、行幸湖管理事務所のモーターボートで曳航していきました。ところで、今年の実験、竹と間伐材の杉で組んだ4m四方のイカダですが、炭袋をびっしりと積み込んだ上に、大人5人が乗っても沈みませんでした（だいぶ大型の大人の方でしたが）。

曳航のモーターボートに同乗して、去年までの浮島も観察してきました。古い浮島にはアシや野草が生い茂り、野鳥や亀の休憩所となっています。去年の浮島は、植えた菖蒲につややかな紺の花が咲いていて、見事な眺めでした。

今回もさまざまな人たちのご協力によって、このイベントが遂行されました。NPO「とよあしはら」、行幸湖カヌークラブ、行幸湖管理所、環境課、ガールスカウト、ボーイスカウト、助成金を提供してくれた埼玉コープと幸手中央ロータリークラブ…。この場を借りてお礼申し上げます。それとスタッフの皆さん、お疲れさまでした！

来年もまた……。

（久保田）

第 2 回野草サミットに参加して

6 月 1 日（日）宮代町で第 2 回野草サミットが開催されました。参加したのは羽生から草加までの中川・古利根川周辺で活躍する人達です。

午前中は宮代町の姫川や田んぼ、山崎山や野草の保全地を巡る観察ウォーク、午後は講演会と活動発表で、私は都合で午後のみ参加しました。

「水辺の野草が消えていく」と題して県生態系保護協会の堂本氏の講演は、川の護岸工事や水量の変化、田んぼの農薬や農業の変化に伴い、身近でありふれていた水辺の野草がどんどん減ってきている、今のうちに手を打たねばとの危機感にあふれたものでした。

続いてのグループ発表は 4 団体。

羽生：地下水の過剰利用による地下水位の低下と地盤沈下について

南埼玉：絶滅が心配されるキタミソウの保護について

宮代：水田開発に伴う野草の減少と保護活動について

久喜：自然観察会や市民環境講座の開催、行政への働きかけでできた「街路樹の混植条例」や学校での環境授業などの自然の保護と啓発活動について

どのグループからも自然を護り、次の世代に伝えたいとの熱い思いが伝わって、私達もがんばらねばと思いました。（藤城）

6 月の行事・活動

幸手自然愛護会ふれあいウォーク 渡良瀬遊水地（谷中湖）の自然探索

実施日時 平成 20 年 6 月 29 日（日） 9 時幸手駅集合 雨天中止

参加費 200 円 その他交通費など自己負担

観察場所 渡良瀬遊水地（谷中湖）

幸手駅→板倉東洋大前駅

多自然池 - ヨシ原浄化ゾーン - ウォッチングタワー →

親水多目的ゾーン → 子供広場 → 谷中村史跡保存ゾーン

柳生駅→幸手駅

持ち物 弁当・飲料水・長袖シャツ・長ズボン・双眼鏡や植物図鑑（あれば）

* 問合せ 和泉さん 42-4397

幸手の環境活動グループ：幸手権現堂桜堤保存会、権現堂川地域環境保全協議会、幸手地産地消研究会、幸手ひがし幼稚園、エコ・グリーン幸手、くらしの会、上高野婦人会、倉松探検隊

市民環境会議・さて市民環境ネットは、「環境基本計画」に市民の皆さんの声を織り込むために作業してきました。そして今、環境ナビ（幸手市 HP）エコライフ DAY、中川探検、腐葉土づくり、浮島づくり、グリーンコンシューマー運動などの活動に取り組んでいます。あなたも参加しませんか。いつからでも誰でも参加できます。

問合せは、本田（42 - 8412）まで。